

志布志市

世界に届け！KAGOSHIMA発 TEAグローバル・マーケティング・プロジェクト

鹿児島のお茶生産の「技術」を武器に、海外市場を攻略するPRプランを提案せよ



お茶の歴史

お茶は中国で生まれ、日本には奈良時代から平安時代にかけて伝わりました。当初は貴族や僧侶の飲み物でしたが、時代が進むにつれて武士や庶民にも広がりました。江戸時代には栽培や製法が発展し、日常生活に欠かせない飲み物として日本文化に深く根づいていきました。

鹿児島はお茶の生産量日本一

鹿児島県は荒茶生産量が全国一位です。温暖な気候に恵まれ、多品種を時期をずらして摘み取れることに加え、広大で平坦な茶畑での大型機械による効率的な生産体制が、その理由です。かごしま茶は、濃厚なコクと甘み、深みのある味わいが特徴です。



お茶の世界市場

世界では紅茶や緑茶、ウーロン茶などさまざまなお茶が飲まれており、特に紅茶は多くの国で親しまれています。近年は健康志向の高まりから緑茶への関心も高まっています。日本茶は品質の高さが評価され、海外市場への輸出やブランド化が進められています。

志布志市総合観光案内所

TEL 099-472-2224 〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志2丁目28-11

志布志市

タビマエ



世界に届け！ KAGOSHIMA発 TEAグローバル・マーケティング・プロジェクト

鹿児島のお茶生産の「技術」を武器に、海外市場を攻略するPRプランを提案せよ

問い① 日本のお茶文化について調べよう！

歴史の中でどのように発展してきたのでしょうか。お茶の効能についても着目し、調べてみましょう。

問い② 日本茶について知ろう！

どのような行程を経てお茶は作られているのでしょうか。

問い③ お茶が育つ地域について考えよう！

鹿児島や静岡などのお茶の産地はなぜ適しているのか、色々な側面から考えてみましょう。

問い④ お茶はなぜ世界で定着しないのか？

世界ではコーヒーが広く飲まれている一方、日本茶の文化はあまり定着していません。急須の手間や習慣の違いが原因とも考えられます。鹿児島の堀口製茶のように海外へ新たな魅力を発信する動きもある中、日本茶が広がりにくい理由を、文化やマーケティングの視点から考察してみましょう。

志布志市

タビナカ



世界に届け！ KAGOSHIMA発
TEAグローバル・マーケティング・プロジェクト

鹿児島のお茶生産の「技術」を武器に、海外市場を攻略するPRプランを提案せよ

① テイスティングメモ

② 説明の中で感じたこと、企画に活かそうだと思ったこと

志布志市

タビ아트 

世界に届け！ KAGOSHIMA発
TEAグローバル・マーケティング・プロジェクト

鹿児島のお茶生産の「技術」を武器に、海外市場を攻略するPRプランを提案せよ

もしあなたが海外事業担当者だとしたら、特定のターゲット国を選び、その国に日本茶を広めるための具体的なプロモーション戦略を立案してください。「Product（商品）」「Price（価格）」「Place（販売場所）」「Promotion（宣伝方法）」の4つの視点から、あなたのアイデアをまとめてみましょう。

対象国

対象国について調べたこと

商品、コンセプト、概要など

販売方法

価格